**機械工学研究室**

　　**Ⅳ−３ 　 東京都市大学機械工学科卒業論文**

**概要原稿の書き方**

35mm以上空ける

(1 line space )

**指導　五島一郎　教授　　都市二郎　准教授**

**工学三郎　講師　　機械四郎　院生**

**1211001　金属四郎　　1211010　木材五郎**

(1 line space )

**１．はじめに**

　機械工学科で定めた卒業論文概要集の原稿フォーマットを示したものです．原稿は文章作成ソフトを用いて, Ａ４用紙２枚に記述する．なお原稿は，PDFファイル形式で提出する．

8mm

(1 line space )

**２．原稿作成要領**

　**２．１　フォーマット**

　左右マージンは21mm，上マージンは22mm,下マージンは28mmをとる．本文は２段組で，コラム幅80mm，コラム間隔8mmとする．9ptの文字で一行最大25文字（両端揃え，字送り9.05pt），最大50行（行送14pt）・2段組(2500文字)とし，フォントは原則として明朝体を使用する．

　**２．２　タイトル**

　題名は２・３行目に14ptの太字（Bold）を使用し，中心割付で書くこと．ただし，左端に所属研究室名とコード番号を記入するため，左35mm以上の余白をとって題名を書き始めること．

　**２．３　所属とコード番号**

　所属研究室名は10ptのゴシック体を使用して１行目左端から記入する．

　研究室コード番号は10pt・ゴシック体ローマ数字により２行目５文字目からに記入する．なお，研究室コード番号は以下の通りとする．

　Ⅰ：流体工学研究室

　Ⅱ：内燃機関工学研究室

　Ⅲ：表面加工研究室

　Ⅳ：機械材料研究室

　Ⅴ：材料力学研究室

　Ⅵ：機械力学研究室

　**２．４ 　著者名**

　卒業研究指導者名と著者名は５〜７の３行に10ptの明朝体を使用して強調体により右づめで記入する．

(1 line space )

**３．本　文**

**３．１　本文の構成**

　本文は原則として，緒言，実験方法，実験結果，考察，結言，参考文献の順に記述すること．

**３．２　本文の書き方**

　本文は9pt・１行25文字（両端揃え），２段組で記述し，著者名から１行空けて書き出しとする．見出しはゴシック体を使用し，一行最大25文字（両端揃え，字送り9.05pt），最大50行（行送14pt）・2段組(2500文字)とし，フォントは原則として明朝体を使用する．１行空けて左詰めで記述する．

　読点は（，カンマ），句点は（．ピリオド）を用い，句読点および括弧は１字に数える．新しい行の初めは１コマ空ける．章，節等の分け方および記述方法は，この概要原稿の書き方を参考にする．

**３．３　図表の書き方**

　図や表は本文中の説明と離れない位置に貼り付ける．また図表の幅は原則として１段の幅(80mm)以内に収め，やむ得ない場合は２段の幅で記述する．なお図表の左右には本文は回り込まないようにする．さらに図・表どうし，あるいは図，表と本文は１行以上間隔をあけるようにする．また写真は図として扱う．PDFファイルによる提出なので，カラーでも差し支えない．なお写真等の解像度の判断は，論文指導者および著者の責任で行うこと．

表１　各材の機械的性質

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| Material | y (MPa) | b (MPa) | (GPa) | HV0.05 |
| A | 553 | 803 | 196 | 251 |
| B | 821 | 1025 | 203 | 320 |
| C | 989 | 1256 | 201 | 398 |



**４．提出期限，提出方法**

提出締切日：**２０２２年２月４日（金）１２:００**

　提出方法：研究室毎に順番に揃えてオンラインで提出する. 提出の際, 公聴会プログラムもpdfファイルとして提出すること．提出先は別途連絡する. 各概要のファイル名は”研究室名\_順番.pdf“とする．

(1 line space )

**５．その他の注意事項**

　参考文献の後に掲載された論文や講演した論文があれば，記述すること．